

BRT専用道整備の進捗状況とBRT未利用区間の利用について

1 BRT専用道の整備計画(年度計画等)について

現時点のBRT専用道の整備については、JR東日本から伺っている内容を基に表にまとめると、次のとおりです(本市内の区間のみ記載)。この内容は、今後、変更の可能性があります。

計画上の最終的な専用道率については、昨年までの説明と同様、大船渡線全体で5割程度、気仙沼線全体で9割程度となっています。

○ JR気仙沼線 (※市立新病院経由のルートは記載省略)

	現在までの整備状況	平成30年春から	平成31年春以降	平成32年春以降
気仙沼駅	専用道	専用道	専用道	専用道
不動の沢駅				
(第2大川橋梁)	一般道	一般道	一般道	第2大川橋梁の完成、土地区画整理事業の進捗による延伸
南気仙沼駅				
(第3大川橋梁)				
松岩駅	専用道	面瀬川橋梁の完成による延伸	専用道	専用道
(面瀬川橋梁)				
最知駅	専用道	専用道	専用道	専用道
陸前階上駅				
(沖ノ田川橋梁)	工事のため一般道を運行	工事のため一般道を運行	工事のため一般道を運行	沖ノ田川橋梁の完成による延伸
大谷海岸駅	一般道	一般道	一般道	
小金沢駅	専用道	専用道	専用道	専用道
本吉駅				
(津谷川橋梁)	一般道	一般道	津谷川橋梁の完成による延伸	専用道
陸前小泉駅	専用道	港川橋梁の完成による延伸	専用道	
蔵内駅		工事のため一般道を運行		専用道
(港川橋梁)	専用道	専用道		

○ J R大船渡線

	現在までの整備状況		平成30年以降	
八幡大橋駅	一般道		一般道	
鹿折唐桑駅	専用道		専用道	
気仙沼駅				
上鹿折駅	一般道		一般道	
鹿折唐桑駅				

2 J R用地のうち、B R T専用道として利用しない区間の活用方法

前項の整備計画において、J R気仙沼線で、現時点でB R T専用道として利用する予定がない区間は、本吉町大谷（大谷海岸駅北側）から本吉町津谷長根（津谷大沢地区）の間のみとなっています。

この区間のうち、赤牛漁港、大沢(津谷)漁港周辺については、本市事業での防潮堤整備等に活用することについてJ R東日本から了承を得ております。

その他の用地取扱いについては、今後協議してまいります。

3 大谷漁港の防潮堤計画に関するJ Rとの交渉状況について

大谷漁港の防潮堤計画に際しては、漁港背後にJ R気仙沼線がありB R T専用道復旧区間となっていることから、防潮堤を計画するにあたり、構造・位置の決定においてJ R気仙沼線に配慮する必要性がありました。

当初の防潮堤計画では、漁港背後にあるJ R気仙沼線に影響しないよう海側に防潮堤を配置し、漁港への出入りは現道から「陸閘」により行うこととしていましたが、地元からは、「位置については、防潮堤の海側に用地をできるだけ残せるようJ R気仙沼線に近づけてほしい」「防潮堤の漁港への出入り口については、陸閘ではなく、防潮堤を乗り越す乗越道路で進めてほしい」との意見が出されておりました。

防潮堤をJ R気仙沼線に近づけた「乗越道路」とする場合、防潮堤背後の接続する市道を嵩上げする必要がありますが、近くにあるJ R気仙沼線の踏切も嵩上げ等をする必要があることから、8月2日J R盛岡支社を訪問し、市道を嵩上げした場合のJ R気仙沼線及び踏切の対処方法について意見を伺い、理解を得たことから、前向きに協議を進めることとしました。

8月7日に開催した地元説明会では、防潮堤を乗り越す「乗越道路」として、①現在の踏切は廃止し、ボックスカルバートを設置しトンネル代わりとしてその中の専用道をB R Tが通り、その上を市道が通過する立体交差案、②J R気仙沼線と市道の両方を嵩上げしこれまでと同様に踏切を設ける平面交差案の二つの案を示させていただきました。

今後、地権者や漁港利用者等の意向を確認し、J Rとの協議と併せ、次回の説明会で方針を決定することで合意をいただいております。

4 BRT新駅の検討状況について

平成28年7月に本市からJR東日本に対し、BRTへの新駅設置を申し入れている駅は次の9駅です。

このうち、「(仮称)東陵高校入口駅」は本年4月1日に「八幡大橋(東陵高校)駅」として設置されたところであり、「(仮称)気仙沼市立病院駅」は本年11月の新病院開院に合わせて「気仙沼市立病院駅」として設置される方向を確認しています。

残る7駅については、JR東日本との協議において、下記のとおりとなっており、既存バス路線との競合等の課題があり、慎重な検討が必要となります。

なお、「(仮称)気仙沼警察署前駅」は、専用道及び気仙沼市立病院駅を経由するルート上にないことから、設置は難しい状況であります。

さらに、「(仮称)向洋高校前駅」についても、陸前階上駅に近接(約500m)していることから設置は難しいとされていますが、今後、高校や地元の意見をさらに聞いてまいります。

JR東日本の新駅の設置については、特別な理由がない限り、年1回3月のダイヤ改正時が基本と伺っております。

○新駅申入れ箇所(計9か所)

駅の名称	位置	検討状況・課題等
(仮称) 唐桑大沢駅	一般道上(国道45号) 大船渡線(鹿折唐桑～長部間)	既存バス路線との競合が課題
(仮称) 東陵高校入口駅	一般道上(国道45号) 大船渡線(鹿折唐桑～長部間)	平成29年4月1日設置 八幡大橋(東陵高校)駅
(仮称) 気仙沼市役所前駅	専用道上 大船渡線(気仙沼～鹿折唐桑間)	既存バス路線との競合, アクセス通路の確保が課題
(仮称) 東新城駅	専用道上 気仙沼線(気仙沼～不動の沢間)	既存バス路線との競合が課題
(仮称) 気仙沼市立病院駅	新病院敷地内 気仙沼線(南気仙沼～松岩間)	平成29年11月2日設置予定 気仙沼市立病院駅
(仮称) 気仙沼警察署前駅	一般道上(県道26号) 気仙沼線(南気仙沼～松岩間)	市立新病院の経路により、将来的なルート上にない。
(仮称) 岩月駅	専用道上 気仙沼線(松岩～最知間)	既存バス路線との競合が課題
(仮称) 向洋高校前駅	専用道上 気仙沼線(陸前階上～大谷海岸間)	陸前階上駅に近接(約500m)
(仮称) 津谷大沢駅	専用道上 気仙沼線(小金沢～本吉間)	既存バス路線との競合が課題